

係	専門員	係	主査	主幹	局長	副議長	議長

様式第12号

平成29年 4月 1日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期日	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
参加者氏名	佐藤 博幸
場所・会場	〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学 TEL : 025-257-4455 FAX : 025-257-4456
内容(目的)	大学院 博士後期課程 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 地域・国際保健福祉学 地域・国際保健福祉学特殊講義 地域・国際保健福祉学特殊演習 地域・国際保健福祉学特殊研究
交通手段	自家用車・JR・飛行機・レンタカー
行程	鶴岡市・・・新潟医療福祉大学キャンパス・・・鶴岡市

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。
自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



係	係	係	係	係	係	係	係

様式第13号

平成29年 9月30日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	平成29年 4月1日 ~ 平成29年 9月30日
参加者氏名	佐藤 博幸
場所・会場	〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学 TEL : 025-257-4455 FAX : 025-257-4456
内容(目的)	大学院 博士後期課程 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 地域・国際保健福祉学 地域・国際保健福祉学特殊講義・演習 地域・国際保健福祉学特殊研究
調査・研修 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域・国際保健福祉学特殊講義・演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の概要 地域・国際保健福祉学の専門領域について学ぶ。専門領域は社会福祉学である。 ・ 授業の目的 社会福祉学について講義で知識を習得する。 ・ 学習目標 主に人間集団を対象とした基礎研究から応用研究、政策研究の方法論を知る。 ○ 地域・国際保健福祉学特殊研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の概要 地域・国際保健福祉学特殊講義において学んだ理論と解析方法から、さらに科学的思考力と応用力を高め研究を行う。 ・ 授業の目的 博士論文作成を目的とする。 ・ 学習目標 研究分野に関する広範かつ高度な知識を基に、学術的に独自性、先駆性のある研究目的を設定する。研究目的を達成するための研究計画を高い水準で作成する。研究計画に従って実験、調査等を行う。(データ収集、分析、評価)

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



係	専	係	長	主	査	主	幹	局	長	副	議	長

様式第12号

平成29年5月11日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期日	平成29年 5月18日 ～ 平成29年 5月19日
参加者氏名	菅原一浩
場所・会場	東京都千代田区神田駿河台 明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール
内容(目的)	2017年度日本自治創造学会研究大会 ～前例から創造へ～ 人口減・高齢化を乗り越える 上記研究大会への参加・研修
交通手段	J R
行程	鶴岡市・・・東京都千代田区神田駿河台 明治大学アカデミーコモン棟 3階アカデミーホール・・・ホテル宿泊・・・東京都千代田区神田駿河 台 明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール・・・鶴岡市

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。
自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



係	専	係	長	主	査	主	幹	局	長	副	議	長	議	長

様式第13号

平成29年5月22日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期日	平成29年5月18日 ～ 平成29年5月19日
参加者氏名	菅原一浩
場所・会場	東京都千代田区神田駿河台 明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール
内容(目的)	2017年度日本自治創造学会研究大会 ～前例から創造へ～ 人口減・高齢化を乗り越える 上記研究大会への参加・研修
調査・研修 の概要	財団法人日本自治創造学会研究大会に参加し、特に地方自治体が直面している人口減少・高齢化についての多様な問題について、下記の講演を聴講すると共に、全国の同様な立場の地方議員と意見交換を行った。 1.地方議員のマナーと新たな議会の責務 2.人口減に挑む 解決への処方箋 3.自治体のスマート改革 4.人口減少と高齢化を乗り越える自治体と地方議会の挑戦 5.財政と民主主義の将来 6.人口減少社会における地域づくりの展望 7.自治体改革の実現力 8.人口減における自治体イノベーション 9.地方議会の役割と再生 著名な大学教授や国の幹部官僚等による講演・ディスカッションは、喫緊の課題である人口減少・高齢化への対応について、地方が主体的にその解決に繋げることができる施策を紹介・提起する内容であったが、一方で少子化に関しては、対応の遅れから国全体として挽回は非常に困難であり、人口減少を前提とした地域づくりが今後は必要との指摘も目立った研究大会であった。

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



係	専	係	長	土	土	同	長	副	議	長

様式第12号

平成29年7月12日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ 団長 五十嵐庄一

(五十嵐一彦)

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	平成29年 8月 2日 ~ 平成29年 8月3日
参加者氏名	五十嵐一彦
場所・会場	山口県萩市「萩しーまーと」
内容(目的)	日沿道新潟県境区間IC周辺土地利用のための先進地視察
交通手段	自家用車・飛行機・レンタカー
行 程	<p>【8月2日】</p> <p>庄内空港 → 羽田空港 → 山口宇部空港 → 萩しーまーと (視察)</p> <p>7:10 8:10/10:30 12:05/12:40 14:10-16:00</p> <p>宇部市内宿泊</p> <p>【8月3日】</p> <p>宇部市内ホテル → 山口宇部空港 → 羽田空港 → 庄内空港</p>



係	係	係	土 宜	土 野	同 長	副 議 長	議 長

様式第13号

平成29年9月5日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

団長 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	平成29年8月2日 ～ 平成29年8月3日
参加者氏名	五十嵐 一彦
場所・会場	山口県萩市「萩しーまーと」
内容(目的)	日沿道新潟県境区間 I C 周辺土地利用のための先進地視察
調査・研修 の 概 要	別紙のとおり

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



報告者：新政クラブ 五十嵐一彦

- 1 視察日 平成29年8月2日(水)～3日(木)
- 2 視察先 山口県萩市「萩しーまーと」
- 3 視察内容
 - ①道の駅「萩しーまーと」設立までの経緯について
 - ②運営体制について

4 視察報告

(1) 萩市の概要

萩市は山口県北部の日本海に面しており、面積698.79平方キロ、人口51,695人(平成26年5月末現在)の都市である。市の中心部には、江戸時代の城下町のたたずまいが残され、多くの名所・旧跡があることから、全国的にも有名な観光地となっている。吉田松陰の松下村塾は有名である。

萩市の主な産業は、上記の資源を活用した観光サービス業、中国山地の肥沃な土壌を利用した農業、日本海の豊富な水産資源を活かした漁業及び水産加工業となっている。

(2) 道の駅「萩しーまーと」の概要について

道の駅・「萩しーまーと」は平成13年4月に開業した。萩市の中心部から北東約3キロの国道沿いに位置し、萩漁港と隣接している。敷地面積は約8,400平米、建物施設の延床面1,850平米となっている。建物内には、鮮魚を中心に、水産加工物、青果、肉類などの食料品店とレストラン等の17の店舗が、公設市場のような形で配置されている。

ほとんどの道の駅が公設民営方式をとっている中で、「萩しーまーと」は、全国的にも珍しい民設民営方式をとっている。施設は、萩市などからの補助金を受けつつ、自力で整備した。

(3) 設立までの経緯について

平成9年より、山口県及び萩市は、漁港埋め立て地に卸売り市場・製氷冷蔵施設・公園・販売施設を一体整備する計画を立てた。その中の販売施設が「道の駅・萩しーまーと」であった。当初は全国にある観光市場「お魚センター」をイメージして、先進地視察調査を行い、都市部の大手コンサルタント会社に依頼して計画書を作成。その内容は、都市部からの観光客をメインターゲットに、豪華でおしゃれな建物を整備、客単価も客数もかなり高い設定をしていた。

その後、現在、専務理事を務めている■■■■氏が公募に応募して事務局長として採用され、整備計画や運用計画の立案に携わる。前職がマーケティングの専門職であった■■■■氏が再検証し、その計画が地方都市の実情を考慮せず、都市部のマーケティング係数をそのまま当てはめて作られた机上の空論であったことを見抜き、組合長や萩市の幹部に計画の再構築を提案。全国の「お魚センター」約100箇所をリストアップして徹底的に調査し、「観光客重視」から「地元重視」の計画に方向転換して行く。地産地消にこだわり、またスーパーとの差別化を図り、ワンストップショッピングの機能も重視した店舗構成を実現。

オープン後は、道の駅としてのメリットを活かしながら、メディアを十分に活用して安定した客数を確保している。

(4) 運営体制について

「萩シーマート」は、漁協を中心に市内の17事業者が出資して（資本金2,350万円）事業協同組合を設立し、主としてテナント方式で運営している。漁港に併設していることから、鮮魚類の品揃えが中心だが、17の事業者がそれぞれ店を持ち、総菜店、八百屋、肉屋、飲食店などが並び、市民の生活視点を重視した内容になっている。また組合直営の店舗もある。

(3) 所感

なによりも民設民営で実現したことが特に興味深く、実現に至るまでの経緯をお聞きしたが、もっともポイントとなったのが人材であったということに納得した。

そして、この施設の成功に欠かせないのが■■■■氏の存在であったと確信した。当初の観光客重視の計画で進めていたら、間違いなく撤退を余儀なくされていたであろうことは様々なデータからも説明できる。地方都市の実情を考慮し、その特徴を最大限に活かし、地産地消に特化した方向性での計画が成功への鍵であったと思われる。

また■■■■氏が前職の経験から、広告宣伝はお手のものであったことも大きな要因だ。開業から3ヶ月も過ぎると、「一回行ってみよう」効果が薄れ、次第に集客が落ちてきた。だがそれは■■■■氏の想定内のことであった。地元へのチラシ投下、TV・ラジオのローカル局へのアプローチ、各新聞社や地元ケーブル局などへの訪問を重ね、年間のマスコミ登場数は軽く100件を越え、テレビ番組のレギュラー出演を確保するようになる。この手腕がまたすごいと感じた。広告費に換算したら億を超えると思われる。

■■■■氏は、この萩シーマートの手法は、いくつかある要件に適合する地域であれば成立すると言う。これから高速道の休憩施設を整備しようとしている鶴岡市にとって、とても参考になる先進事例であると感じた。

係	係	主査	主幹	局長	副議長	議長

様式第12号

平成29年6月30日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	平成29年8月3日（木） ～ 平成29年8月4日（金）
参加者氏名	菅原一浩、尾形昌彦
場所・会場	大阪市中央区北浜東3-14 エルおおさか
内容(目的)	第16回地方議会議員研修会に出席するため
交通手段	自家用車・JR・飛行機・レンタカー
行 程	<p>鶴岡市…エルおおさか（大阪泊）…鶴岡市</p> <p>(参考：費用見込 二人分)</p> <p>参加費 50,000円 (@25,000×2)</p> <p>航空運賃 88,720円 (@44,360×2)</p> <p>宿泊費 28,000円 (@14,000×2)</p>

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。

自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



係	専門員	係	員	主査	主幹	局長	副議長	議長

様式第13号

平成29年8月8日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ 五十嵐 庄一

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期日	平成29年8月3日 ～ 平成29年8月4日
参加者氏名	尾形 昌彦 菅原一浩
場所・会場	大阪府中央区北浜東3-14 エル・おおさか 南館ホール、本館研修室
内容(目的)	第16回地方議会議員研修会 「人口減少を踏まえて地域の将来像を考える」 上記研修会への参加・研修
調査・研修の概要	<p>NPO法人建設政策研究所関西支所主催の上記研修会に参加し、人口減少問題について、下記の講演を聴講すると共に、質疑応答を行った。</p> <p>記念講演：「人口減少」と地域づくり 特別講演：逆境から未来を拓く、あば村宣言と「小さな拠点」づくり 選科B：農村として「地方創生」にどう向き合うか 選科C：人口減少と地域・公共施設の展望</p> <p>講演では、大災害とグローバル化が全国的に強い影響を受ける中で、生活圏域としての地域づくりがこれまで以上に重要になるとのことであり、各地の具体例を紹介・分析するとともに、特別講演として、岡山県津山市阿波地区で行われている小さな拠点づくりと地域運営組織の現状について、現場での取組等を紹介された。また、各選科ではより細分化された分野についての各地の取組等が紹介された。</p> <p>全体的に、日本政府が進める政策に対し、懐疑的な立場での講演が主であったが、各地の事例などにおいては、本市の抱える問題解決について大きな示唆を受けた有意義な研修会であった。</p>

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。

